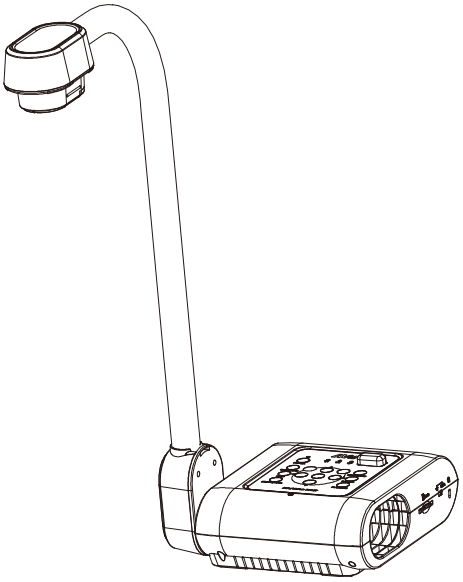
www.aver.com



AVerVision F70W

ユーザーマニュアル

お使いになるまえに～安全のために必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。以下の表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

本書に記載する記号について

⚠ 警告	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性、または物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

表示の例

 注意	△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容（左図記号の場合は高温注意）が描かれています。
 禁止	⃠ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図中やその周辺に具体的な禁止内容（左図記号の場合は分解禁止）が描かれています。
 指示	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図のなかには具体的な指示内容（左図記号の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠警告



- 交流 100V 以外の電源では使用しないでください。感電や火災のおそれがあります。
- 電源コードに傷をつけたり、上に重いものをのせたり、強く引っ張ったりしないでください。感電や火災のおそれがあります。
- 機器の内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などをかけないでください。感電や火災のおそれがあります。万一、異物が入ったり、水がかかり動作をしない場合は、すぐに使用を中止して、販売店または当社営業担当にご連絡ください。
- 電源コードを高温部に近づけないでください。コードの被覆が溶けて感電や火災のおそれがあります。



- 機械の分解、改造は絶対におこなわないでください。感電や火災のおそれがあります。

⚠警告



- 使用中に本体から煙がでたり、異臭、異音がするなどの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または当社営業担当にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。
- 機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。これを怠ると感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードに傷がついて感電や火災の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。これを怠ると感電の原因になります。

⚠警告

- 本機を直射日光の当たるところや、冷暖房器の近く、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因になります。
- 本機を水、油、薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- 本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落下してけがの原因になります。
- 本機を長時間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜いておかないと火災の原因になります。
- 本機を移動させる場合は、本体台座部分を持ってください。台座部分を持たずに移動すると、事故や故障の原因になります。

お願い

- 変色や変形、故障の原因になりますので本機を科学ぞうきん、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤で絶対にふかないでください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布につけ、よく絞ってからふいて、その後乾いた柔らかい布で水分をふきとってください。水洗いは絶対にしないでください。
- 本機を落としたり、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI－A

登録商標について

- Windows 2000、Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、iMac は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- IBM PC、XGA、SVGA、VGA は、International Business Machines Corporation の登録商標です。

米連邦通信委員会声明（Class A）

注意– 本装置は FCC 規則 Part15 に従う Class A のデジタルデバイスの制限値に適合していることがテストにより確認されています。それらの制限は装置を住居環境で使用した場合に有害な干渉の発生を適度に防止することを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、および放出しています。指示に従って設置または使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特定の設置によって干渉が発生しないという保証はありません。本装置によってラジオまたはテレビ受信に装置の ON/OFF によって確認できる有害な干渉が発生した場合、ユーザーは以下のいずれか、または複数の対策を講じてください:

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

Class A ITE:

Class A ITE は、Class B ITE の限度値を満足せず、Class A ITE の限度値を満足する上記以外の ITE です。それらの装置の販売は制限されませんが、使用に関しては以下の警告に留意する必要があります。

警告– これは Class A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者には適切な手段を講じるよう求められることがあります。

CE Class A (EMC)

本製品は電磁気両立性指令 2014/30/EU に関する加盟諸国の法律の近似化の議会指令で制定された条件に適合していることが確認されています。

警告– これは Class A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者にはこの干渉を解消する適切な手段を講じるよう求められることがあります。

著作権

© 2016 AVer Information Inc. 全権留保。
本製品に関する一切の権利は AVer Information Inc.社に属します。AVer Information Inc.の書面による事前の許可なくしては、いかなる形式またはいかなる手段による複製または転送も禁止します。AVer Information Inc. はその製品について、その仕様その他本書に記載されたあらゆる情報を含め、予告なしに変更する権利を留保します。万一、本書の情報および公式な印刷物に含まれる情報との間に不一致があった場合、その公式な印刷物における情報が優先されます。AVer は AVer Information Inc.社の登録商標です。本書に記載されているその他の商標名は説明目的のためだけであり、各社に所属します。

注意

仕様は予告なく変更されることがあります。本書に含まれる情報は参照用途のみを想定しています。

警告

火災や感電の恐れがありますので、本器具を雨や水に曝さないでください。



ゴミ箱のマークは他の家庭用廃棄物と一緒に本製品を廃棄してはならないことを示しています。むしろ、不要になった電気および電子装置をリサイクルために指定された集積場に持参して、不要な装置を廃棄する必要があります。リサイクルするために不要な装置を廃棄する場所に関する詳しい情報については、家庭用廃棄物処理サービスセンターまたは製

品を購入した販売店にお問い合わせください。

リモートコントロールのバッテリの安全性に関する情報

- バッテリは涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 使用済みのバッテリを家庭用廃棄物として廃棄しないでください。バッテリは特別な集積場で廃棄するか、該当する場合には販売店に返却してください。
- 長期間使用しない場合には、バッテリを取り外してください。バッテリの液漏れや腐食により、リモートコントロールが損傷する場合があります。バッテリは安全に廃棄してください。
- 古いバッテリを新しいバッテリと一緒に使用しないでください。
- アルカリ電池、標準電池(炭素亜鉛)、または充電式電池(ニッケルカドミウム)など、異なるタイプのバッテリを一緒に使用しないでください。
- バッテリを火の中に廃棄しないでください。
- バッテリの端子を短絡させないようにしてください。

目次

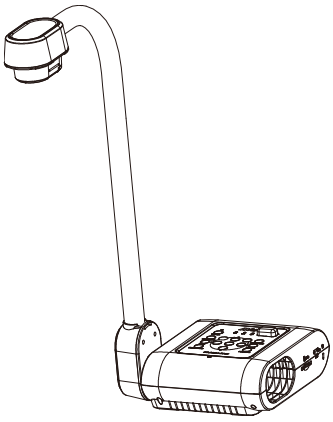
ユーザーマニュアル 1
Class A ITE: 3
CE Class A (EMC) 4
目次 1
パッケージ内容 1
オプション付属品 1
AVerVision F70W の詳細 2
右側パネル 3
リアパネル 3
左側パネル 4
コントロール パネル 5
リモートコントロール 7
接続 10
TV-RGB スイッチの設定 10
HDMI 出力インターフェイスをもつモニターまたは LCD/DLP プロジェクターへの接続 10
TV への接続 11
電源の接続 11
USB ケーブルでコンピュータに接続 12
HDMI 入力インターフェイスをもつコンピュータに接続 12
外部マイクの接続 13
スピーカーの接続 13
顕微鏡への接続 14
F70W を WLAN に接続 15
WiFi モードと USB-PC モードの切り替え 17
タブレット端末で F70W に接続 17
AVerVision F70W のセットアップ 18
収納と取り扱い 18
撮影エリア 19
オーバーヘッド ライト 20
赤外線センサー 20
平らな面に F70W を設置 21
アンチグレア シート 21
外部メモリ ストレージ 22
SD カードの挿入 22
OSD メニュー 23

メニューとサブメニューの操作 24
画像 24
明るさ 24
コントラスト 24
モード 25
効果 25
ミラー 25
詳細 25
自動画像 25
露出 26
ホワイト バランス 26
フォーカス 26
プレゼンテーション 27
スポットライト 27
バイザー ..... エラー! ブックマークが定義されていません。
画面分割 28
PIP 28
タイマー 29
設定 29
キャプチャー 29
解像度 29
タイプ 29
間隔 30
保存先 30
フォーマット 30
USB から PC へ 30
地域設定 30
彩度 31
日時 31
WiFi 31
WiFi 設定 31
AP の選択 31
SSID とパスワードを入力 32
AP の接続 32
マシン名 32
システム 33
言語 33
出力表示 33

バックアップ 33
設定内容保存 33
設定の復元 33
情報 34
既定の設定 34
再生 35
スライド ショー 35
間隔 35
スライド ショー効果 35
現在のストレージ 35
すべて削除 35
撮影した画像/ビデオをコンピュータに転送 36
技術仕様 37
画像 37
光学技術 37
互換性 37
電源 37
ライト 37
入力/出力 37
寸法 38
外部ストレージ 38
RS-232 インターフェイスの使用 38
コンピュータの RS-232 への接続 38
RS-232 ケーブルの仕様 38
RS-232 通信仕様 39
RS-232 通信方式 39
RS-232 送信コマンド表 40
RS-232 コマンド表 45
トラブルシューティング 46
プレゼンテーション画面の画像がゆがんでいる、または画像がぼやけている。 46
プレゼンテーション画面にコンピュータ信号がない。 46
保証について 50

パッケージ内容

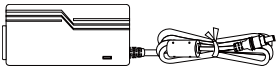
以下の品がパッケージに同梱されていることを確認してください。



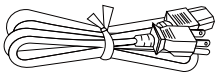
AVerVision F70W



WiFi ドングル

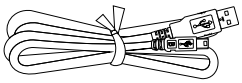


電源アダプタ（12V）

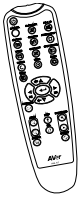


電源コード

＊ 製品が販売される国の標準コンセントに応じて、電源アダプタは異なります。



USB ケーブル



リモコン
（バッテリー付属）

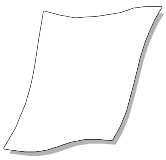


ユーザーマニュアル

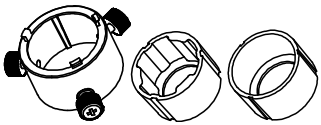
オプション付属品



キャリーバッグ



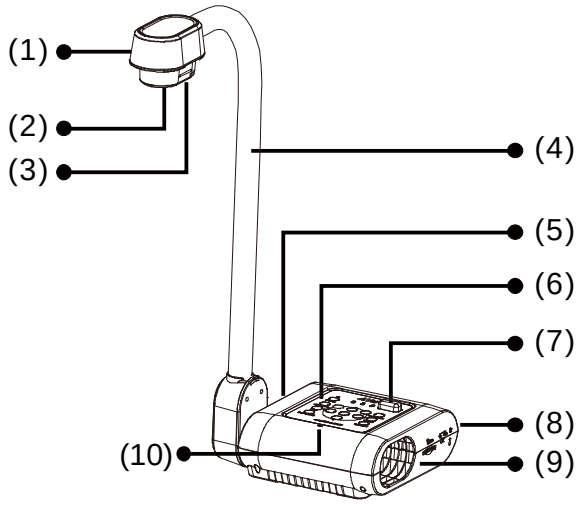
アンチグレア シート



顕微鏡アダプタ

（28mm & 34mm ゴム製カプラ）

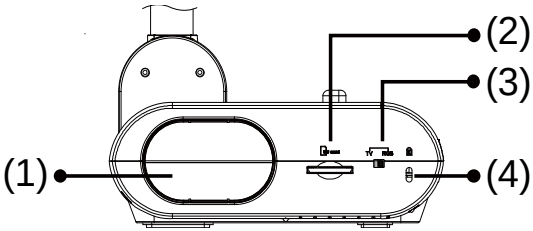
AVerVision F70W の詳細



(*図 1.1*)

名称	機能
(1) カメラ ヘッド	カメラ センサーが含まれています。
(2) カメラ レンズ	カメラの画像にピントを合わせます。
(3) LED ライト	光を供給して照明条件を高めます。
(4) フレキシブルアーム	視界範囲を調整できます。
(5) 左側パネル	RS-232、マイク、スピーカー、リセット ボタンを接続します。
(6) コントロール パネル	さまざまな機能がすぐに使えるように用意されています。
(7) IR センサー	リモコンのコマンドを受信します。
(8) リアパネル	電源、RCA 外部ディスプレイ デバイス、WiFi ドングル、HDMI 入力、HDMI 出力、USB を PC に接続します。
(9) 右側パネル	カメラヘッドホルダー、SD カード、TV-RGB ディスプレイ出力スイッチ、および盗難防止ケンジントンセキュリティロックの互換性スロットに接続します。
(10) 内蔵マイク	ビデオ クリップの録画時にオーディオを録音します。録音された音声はモノラルになります。

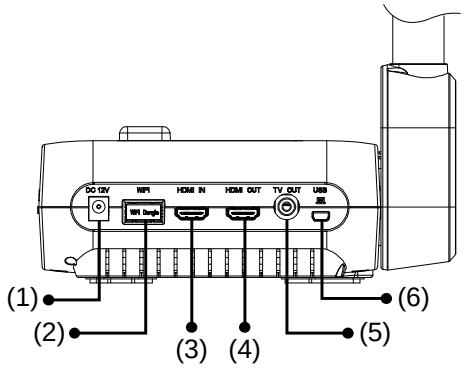
右側パネル



(*図 1.2*)

名称	機能
(1) カメラホルダー	カメラヘッドをストレージに保存します。
(2) SD カード スロット	ラベルが上になるようにして SD カードを挿入します。
(3) TV-RGB スイッチ	表示するビデオの出力を RCA から HDMI OUT に切り替える TV スイッチ。
(4) 盗難防止スロット	ケンジントン互換性セキュリティロックまたは盗難防止装置を取り付けます。

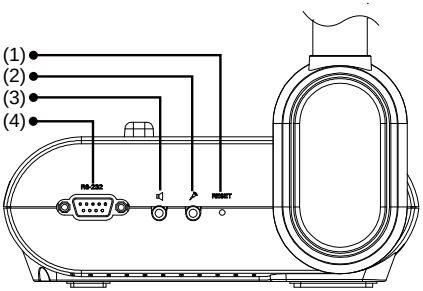
リアパネル



(*図 1.3*)

名称	機能
(1) DC12V	電源アダプタをこのポートに接続します。
(2) WiFi ドングル ポート	WiFi ドングル接続用。
(3) HDMI 入力ポート	このポートを介して外部 HDMI ソースを入力として接続します。
(4) HDMI 出力ポート	HDMI ケーブルを使用して、HDMI インターフェイスをもつ LCD モニターまたは LCD/DLP プロジェクター上のメイン システムからビデオ信号を出力します。
(5) TV 出力ポート	TV 出力をもつディスプレイ デバイスに AVerVision F70W を接続します。
(6) ミニ USB ポート	USB ケーブルでコンピュータの USB ポートに接続し、USB カメラとして AVerVision F70W を使用するか、または撮影した画像をメモリ ソースからコンピュータに転送します。

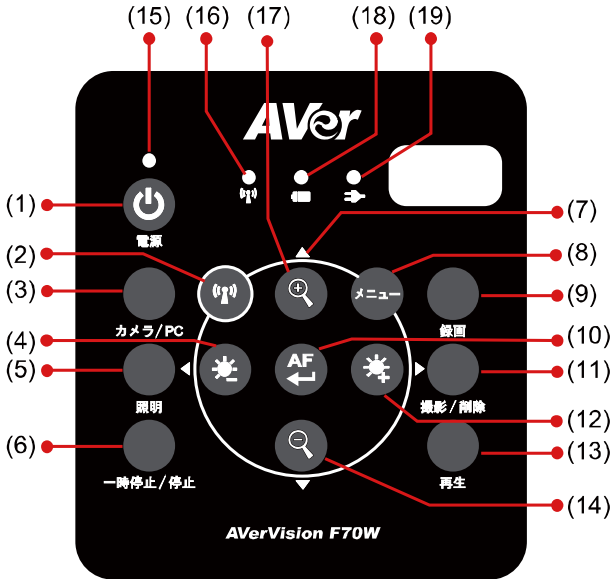
左側パネル



(*図 1.4*)

名称	機能
(1) リセット	システムをスタンバイ モードに設定します。
(2) MIC ポート	3.5mm プラグのマイクを接続します。外部マイクがこのポートに接続されると、内蔵マイクは無効になります。
(3) スピーカー ポート	録音されたオーディオとビデオ クリップを再生するためのスピーカーに接続します。
(4) RS-232 ポート	RS-232 ジャックは、コンピュータのシリアル ポートまたはコントロール パネルへの接続、あるいは必要に応じて一元管理用に使用されます。

コントロール パネル



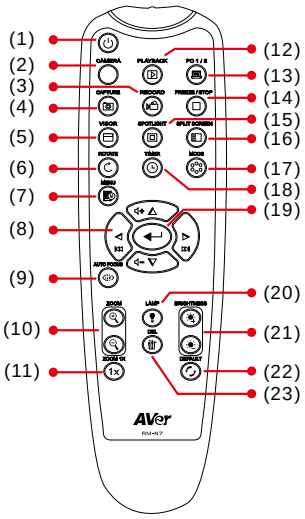
(*図 1.5*)

名称	機能
(1) 電源	ユニットをオンまたはスタンバイ モードにします。
(2)	USB モードと WiFi モードを切り替えます。
(3) カメラ/PC	HDMI IN ポートからのビデオ信号をカメラとコンピュータの間で切り替えます。
(4)	ライブ ビューの明るさを絞ります。
(5) ランプ	オーバーヘッドライトをオン/オフにします。
(6) 一時停止/停止	- カメラ モードで画像の表示を一時停止または再開します。 - 再生モードでオーディオとビデオの再生を停止します。
(7) ▲,▼,◀, &▶	- OSD メニューのオプションを選択します。 - ▲ と ▼ を使用して、ビデオ再生の音量を調整します。 - ◀ と ▶ を使用して、ビデオ再生を巻き戻し/早送りします。 - スポットライトのフレームとバイザー スクリーン カバーの位置を調整します。
(8) メニュー	OSD メニューの表示/非表示を行います。
(9) 録画	オーディオとビデオの録画を開始/停止します。オーディオとビデオの録画は SD カードにのみ保存できます。「外部メモリ ストレージ」を参照してください。
(10)	- ピントを自動調節します。 - 再生モードと OSD メニューで選択します。 - ビデオ再生を開始/一時停止します。

名称	機能
(11) 撮影/削除	- カメラ モードで写真を撮影します。連続撮影モードでは、このボタンをもう一度押すと停止します。 - 再生モードで、選択された写真/ビデオを削除します。
(12) 	ライブ ビューを明るくします。
(13) 再生	撮影した静止画像とビデオファイルを表示、再生します。
(14) 	カメラと写真の再生モードで、画像を縮小します。
(15) 電源 LED インジケーター	- **赤の点灯:**スタンバイ - **赤の点滅:**電源オン - **緑の点灯:**HDMI 出力 - **オレンジの点灯:**TV 出力
(16)  (WiFi)	- **オレンジの点滅:** アクセス ポイントの検索 - **青の点灯:** アクセス ポイントに接続済み - **青の点滅:** カメラにワイヤレスでアクセスできる状態
(17) 	カメラと写真の再生モードで、画像を拡大します。
(18)  (バッテリー)	- **緑の点灯:**バッテリー残量は 40% を上回っています。 - **オレンジの点灯:**バッテリー残量が 20%～40% です。 - **赤の点灯:**バッテリー残量が 20%～5% です。 - **赤の点滅:**バッテリー残量が 5% 未満です。
(19)  (充電中)	- **赤の点灯:** 電源プラグが接続されていて、バッテリーが充電中です。 - **緑の点灯:**バッテリーが完全に充電されています。 - **オフ:**電源プラグが接続されていません。

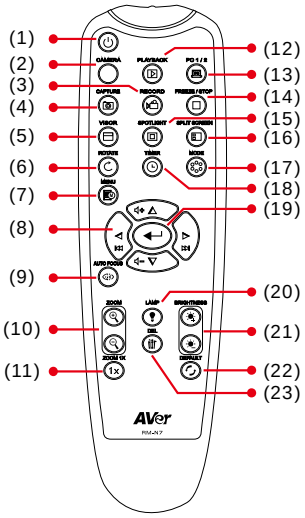
リモートコントロール

リモコンには単 4 電池 2 本が必要です（製品に付属）。使用前に電池が正しく挿入されているか確認してください。リモコンで AVerVision F70W のすべての機能を操作できます。



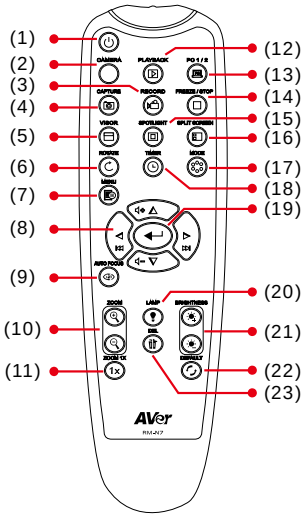
（図 1.6）

名称		機能
(1)	電源	ユニットの電源を入れます。
(2)	カメラ	カメラ モードで内蔵カメラからのビデオ信号を表示します。
(3)	録画	オーディオとビデオの録画を開始/停止します。録画したビデオは、SD メモリ カードにのみ保存できます。
(4)	撮影	カメラ モードで静止画像を撮影します。連続撮影モードでは、このボタンをもう一度押すと停止します。
(5)	マスク	マスクサブメニューを呼び出します。マスクは、プレゼンテーション画面の一部を覆って、プレゼンターが必要に応じて資料を確認できるようにします。 マスクサブメニューでは以下のオプションを使用することができます。  **ON/OFF（オン/オフ）** – マスクをオン/オフにします。↵ を押して次の選択に移動します。 **シェード** – 覆われたエリアの不透明度を設定します。シェードのかかったエリアでレベルを 100 に設定すると完全に黒くなります。↵ を押して次の選択に移動します。 **OK** – ↵ を押すと設定が有効になります。 ON を選択すると、プレゼンテーション画面の上部が少し見えるようになります。▲、▼、◂、▸ ボタンを使用し、覆われているエリアをさらに調整します。OFF を選択するとサブメニューが閉じます。 マスクをオフにするには、VISOR をもう一度押します。
(6)	回転	カメラ モードと再生モードで画像を 180° 回転させます。
(7)	メニュー	OSD メニューの表示/非表示を行います。



(図 1.6)

名称	機能
(8) ▲,▼,◀, &▶	- ライブ モードと再生モードの両方で、デジタル ズーム レベルの上の画像をパンおよびズーム インします。 - OSD メニューのオプションを選択します。 - ▲ と ▼ を使用して、ビデオ再生の音量を調整します。 - ◀ と▶ を使用して、ビデオ再生を巻き戻し/早送りします。 スポットライトのフレームとバイザー スクリーン カバーの位置を調整します。
(9) オート フォーカス	ピントを自動調節します。
(10) ズーム +/−	カメラと写真の再生モードで、画像を拡大/縮小します。
(11) ズーム リセット	ズーム レベルを 100% にリセットします。
(12) 再生	メモリ内の撮影された写真/ビデオを 16 枚のサムネイル画像で表示します。
(13) PC 1/2	PC モードは、F70W の HDMI 入力ポートからのビデオ信号を表示します。
(14) 一時停止/停止	- ライブ画像を一時停止します。 - ビデオ再生を停止します。
(15) スポットライト	スポットライト サブメニューを呼び出します。スポットライトは、プレゼンテーション画面にフレームを重ねて表示します。フレームはサイズ調整が可能で、位置も調節できます。 スポットライト サブメニューでは以下のオプションを使用することができます。  **オン/オフ** – スポットライトをオン/オフにします。 (↵) を押して次の選択に移動します。 **シェード** – ボックス外側のエリアの不透明度を設定します。シェードのかかったエリアでレベルを 100 に設定すると完全に黒くなります。(↵) を押して次の選択に移動します。



(*図 1.6*)

名称	機能
(15) スポットライト	**色** – スポットライト フレームの色を選択します。 を押して次の選択に移動します。 **OK** – を押すと設定が有効になります。 ON を選択すると、フレームが表示されて点滅します。▲、▼、◂、▸ ボタンを使用してフレームのサイズを調節し、 を押して必要なサイズに設定します。OFF を選択するとサブメニューが閉じます。 スポットライトをオフにするには、 をもう一度押します。
(16) 画面分割	画面を 2 つに分割します。1 つの画面では内蔵カメラのライブ画像を表示し、もう 1 つの画面ではメモリから 8 枚のサムネイル サイズの写真とビデオを表示します。
(17) モード	以下の 3 つのタイプのモードを選択することができます。 **テキスト** – 縁に沿ってコントラストを調節し、テキストを見やすくします。 **グラフィックス** – 画像のグラデーションを調節します。 **顕微鏡** – 光学ズームを微細画像用に自動的に調整します。
(18) タイマー	タイマー サブメニューを呼び出します。タイマーのカウントダウンの開始/一時停止/停止を選択し、タイマーの持続時間を設定します。 
(19)	- 再生モードと OSD メニューで選択します。 - ビデオ再生を開始/一時停止します。
(20) ランプ	オーバーヘッドライトをオン/オフにします。
(21) 明るさ +/–	明るさを調節します。
(22) 既定の設定	既定の設定にリセットします。
(23) 削除	再生モードで、選択された写真/ビデオを削除します。

接続

接続する前に、必ずすべてのデバイスの電源を切ってください。接続する箇所が不明な場合には、以下に示す図を参照するか、AVerVision F70W を接続しているデバイスのユーザー マニュアルも参照してください。

TV-RGB スイッチの設定

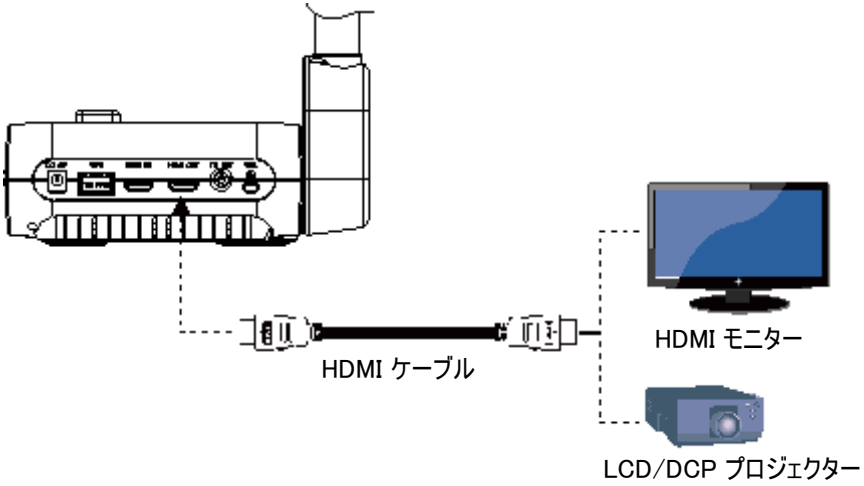
TV-RGB スイッチは、ディスプレイの出力を選択します。HDMI 接続を使用して信号を出力する場合は RGB (右)、RCA 接続を使用して信号を出力する場合は TV (左) に切り替えます。(*図 1.2 # 3 を参照*)

スイッチ	AVerVision ポート		ディスプレイ デバイス ポート
RGB	 HDMI 出力	接続先	 HDMI 入力
TV	 TV 出力		 VIDEO IN (ビデオ入力)

HDMI 出力インターフェイスをもつモニターまたは LCD/DLP プロジェクターへの接続

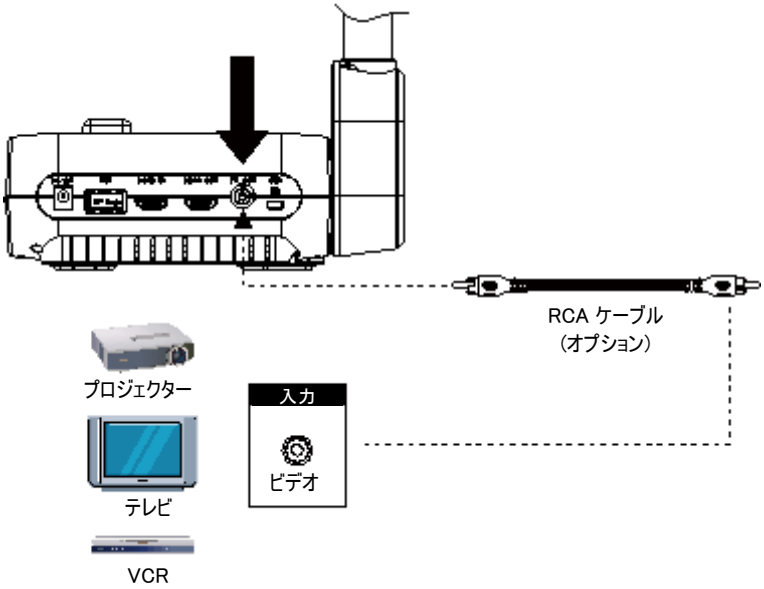
ディスプレイ デバイスの HDMI 入力ポートと AVerVision F70W の HDMI 出力ポートを接続します。

TV/RGB スイッチが RGB に設定されていることを確認してください。



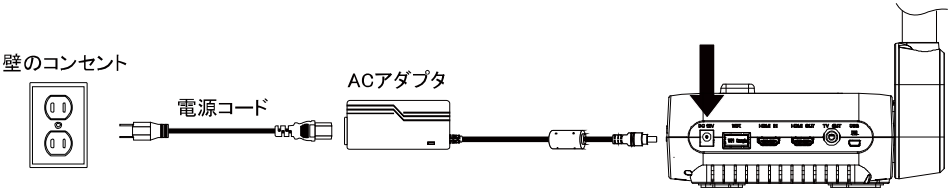
TV への接続

TV またはプレゼンテーションを録画するビデオ機器 (VCR) のビデオ入力ポートに RCA ケーブルの RCA ジャックを接続します。



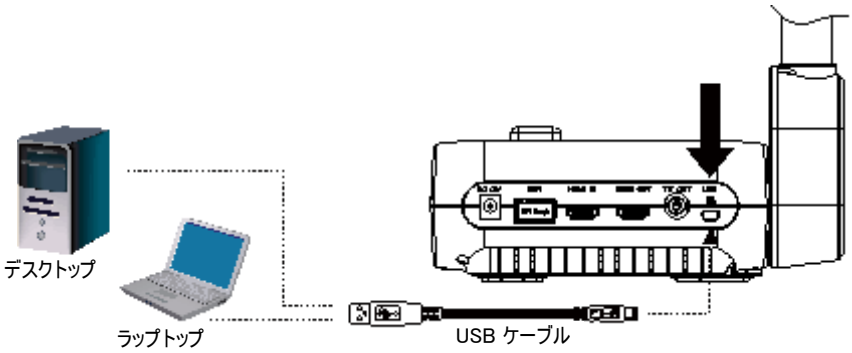
電源の接続

標準の 100V～240V AC 電源コンセントに電源アダプタ (12V) を接続します。電源を接続すると、ユニットは自動的にスタンバイ モードになります。⏻ を押して電源を入れます。



USBケーブルでコンピュータに接続

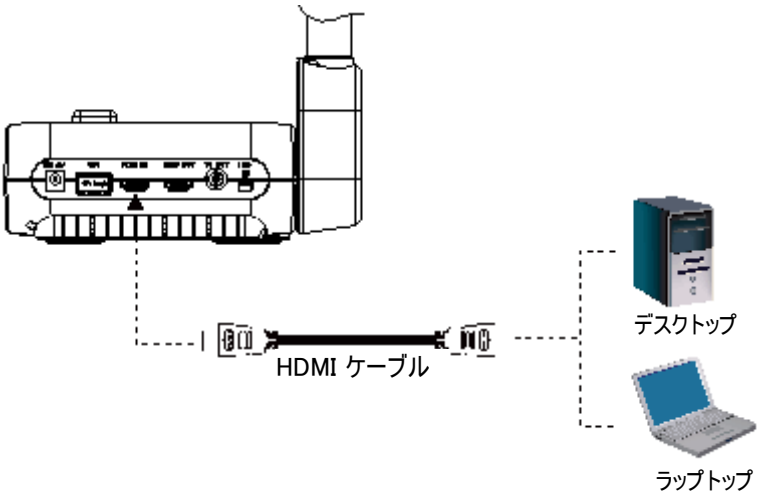
コンピュータまたはラップトップの USB ポートを AVerVision F70W の PC ポートに接続します。



HDMI 入力インターフェイスをもつコンピュータに接続

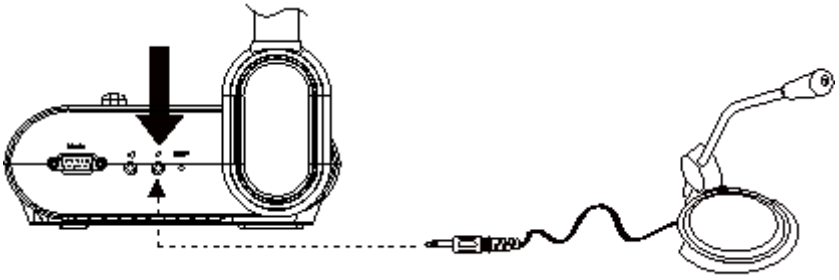
コンピュータまたはラップトップの HDMI 出力ポートと AVerVision F70W の HDMI 入力ポートを接続します。

- TV/RGB スイッチが RGB に設定されていることを確認してください。
- コンピュータの画像を表示するには、コントロール パネルまたはリモコンでカメラ/PC ボタンを押して、AVerVision F70W をコンピュータ モードに切り替えてください。
- ラップトップでディスプレイ画像を出力するには、キーボード コマンド (FN+F5) を使用してディスプレイ モードを切り替えてください。その他のコマンドについては、ラップトップのマニュアルを参照してください。



外部マイクの接続

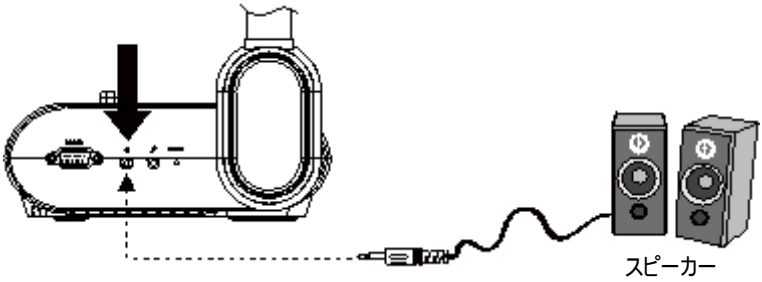
3.5mm モノ マイクを ポートに差し込みます。外部マイクが接続されると、コントロール パネル上の内蔵マイクは無効になります。録音されたオーディオはモノラル サウンドになります。



スピーカーの接続

3.5mm プラグのスピーカーを ポートに接続します。ビデオ再生のオーディオのみサポートされています。

スピーカーをオーディオ出力ポートに接続することを推奨します。イヤフォンを使用するときには注意が必要です。大音量で聴力に悪影響を与えないように、リモコンで音量を下げてください。



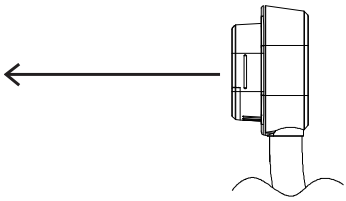
顕微鏡への接続

AVerVision F70W を顕微鏡に接続すると、微小な対象物を大画面で観察することができます。

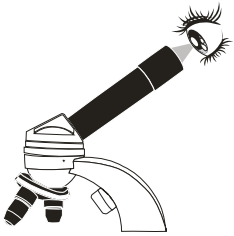
1. 画像表示モードを顕微鏡に変更します。**メニュー** を押して、[**画像**] タブ > [**モード**] >  (**顕微鏡**) を選択し、(↵) を押します。



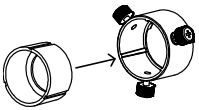
2. カメラヘッドを遠くに向けて、オート フォーカス を押します。



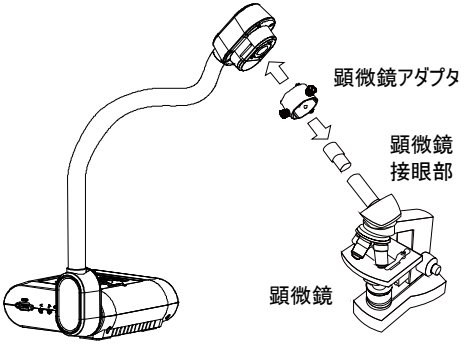
3. 顕微鏡の焦点を調節します。



4. 顕微鏡の接眼部に合うゴム製カプラを選択し、顕微鏡用アダプタに挿入します。



5. 顕微鏡から接眼部を取り外し、挿入されたゴム製カプラで顕微鏡用アダプタに接続します。アダプタが接眼部に固定されるまでボルト 3 本を締め付けます。

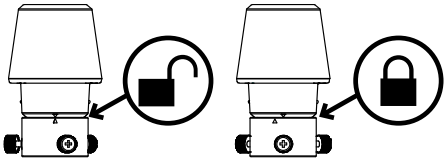




接眼部の瞳距離は、15.5mm 以上にすることを推奨します。

6. 顕微鏡用アダプタを AVerVision のカメラヘッドに取り付けます。そのあと AVerVision と顕微鏡に接続します。

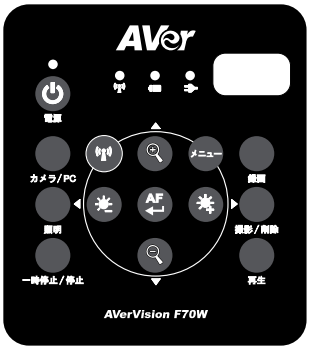
カメラヘッドと顕微鏡用アダプタの矢印が同じ位置になるように合わせてから、矢印を時計方向にひねってロックします。



F70W を WLAN に接続

F70W は WiFi 機能により WLAN ネットワークに接続できます。

1. **メニュー** ボタンを押します。



2. [**WiFi**] セットアップ ページを選選します。



3. [**接続**] を選択し、↵ を押します。



4. AP 設定サブメニューで、WLAN 上で検出された F70W の SSID(AP) を選択します。↵ を押して ▲ と ▼ を使用して選択します。↵ を押して選択を確定します。



5. 選択された AP の**パスワード**を入力します。▼ を使用してパスワード フィールドに移動し、↵ を押してオンスクリーン キーボードを呼び出し、パスワードを入力します。

[注] 既定で [**パスワードの表示**] が有効になっています。入力時にパスワードが表示されます。



6. パスワードを入力した後、[**接続**] を選択して ↵ を押し、選択された AP に接続します。
WiFi 接続を切断するには、[**切断**] を選択して ↵ を押します。
AP アカウントを記憶させるには、[**このアカウントを記憶する**] 機能を有効にしてください。この機能は既定で有効になっています。



7. 正常に接続されると、AP 情報が表示されます。



WiFi モードと USB-PC モードの切り替え

F70W HDMI 出力は常にオンになっていますが、カメラは USB-PC モード（USB がコンピュータに接続されている場合）または WiFi モードのいずれかのみを使用できます。

カメラの前面パネルにある WiFi ボタンがオンになっていない場合、ケーブルがコンピュータに接続されていればカメラは常に USB-PC モードです。ただし、WiFi ボタンがオンになると（WiFi 設定が完了していて正しい場合）、カメラは WiFi モードになり、コンピュータへの既存の USB 接続が切断されます。WiFi モードでは、AVer PC/MAC ソフトウェアまたはタブレット端末からワイヤレス ストリーミングによってカメラに接続できます。

タブレット端末で F70W に接続

この機能を使用すれば、タブレット端末からライブ画像のストリーミング、表示、注釈の書き込み、録画を行うことができます。iPad を例として使い方を説明します。

1. F70W とタブレットが WLAN ネットワーク上の同じ AP に接続されていることを確認してください。
2. タブレットに “**Sphere2**” アプリケーションをインストールします。



3. Sphere2 アプリケーションを起動します。Sphere UI には、検出された DocCam が表示されます。



4. DocCam を選択して [**開始**] を選択し、接続します。



5. 接続が完了すると、DocCam のライブ画像が表示されます。

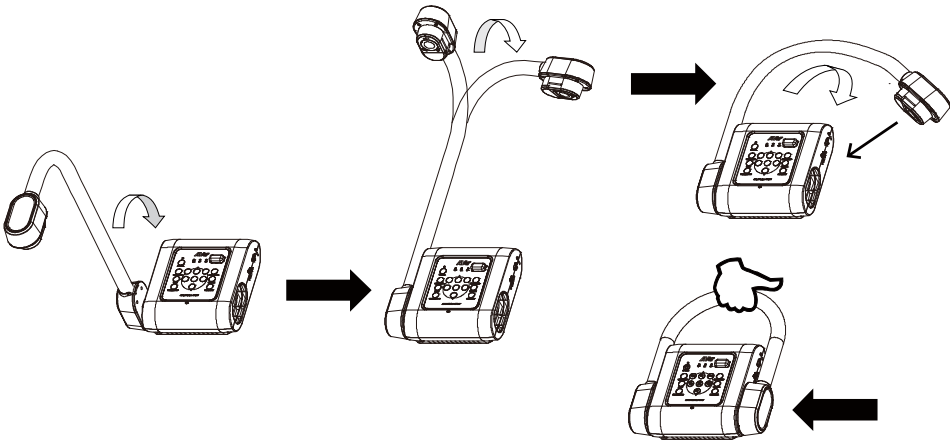


AVerVision F70W のセットアップ

この節では、目的に合わせて AVerVision F70W を調節するときに役立つ情報を記載しています。

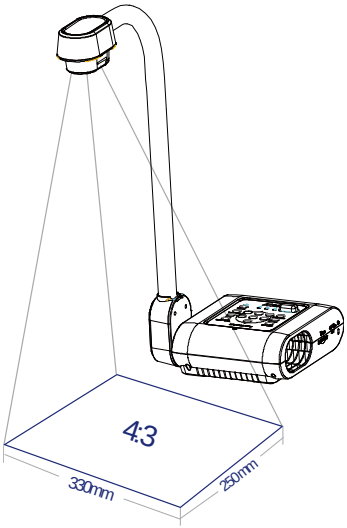
収納と取り扱い

グースネック設計により、アームを自由に曲げてカメラ ヘッドをカメラ ホルダーに収納することができます。カメラ ヘッドをカメラ ホルダーに正しく固定すれば、アームを持ち手にして AVerVision F70W を運ぶことができます。

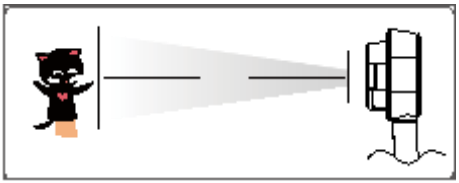


撮影エリア

撮影可能な範囲は、330x250mm (4:3) の横方向の用紙サイズです。



カメラ ヘッドが直立した状態の場合、コントロール パネルまたはリモコンの 回転 を押して、画像を 180° 回転させます。

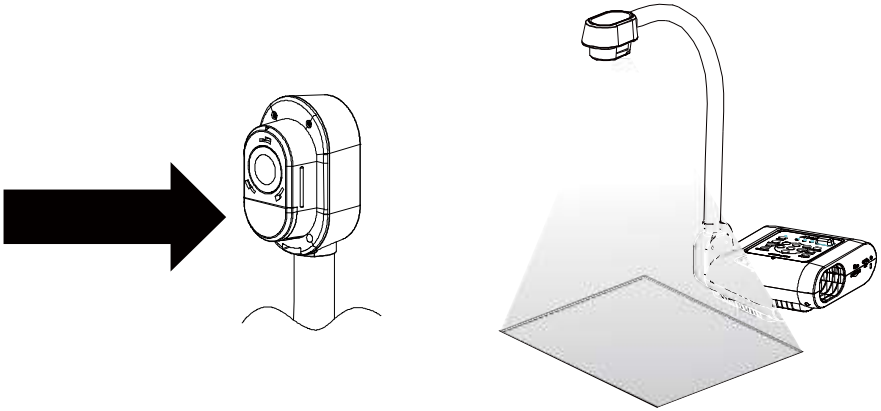


画像を反転するには、メニューを押し、[ミラー] を選択し、↵ を押して [オン] を選択します。



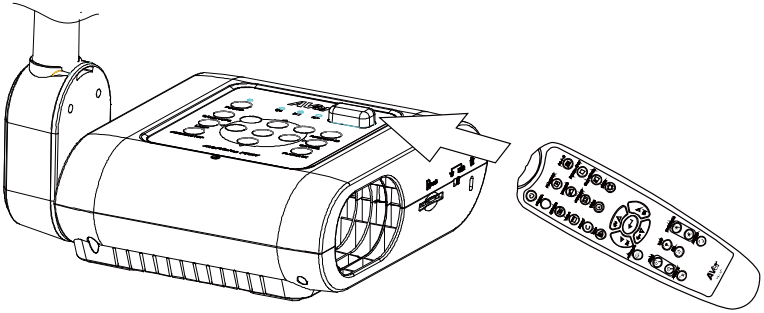
オーバーヘッド ライト

コントロール パネルまたはリモコンで LAMP ボタンを押し、ライトを点灯/消灯します。



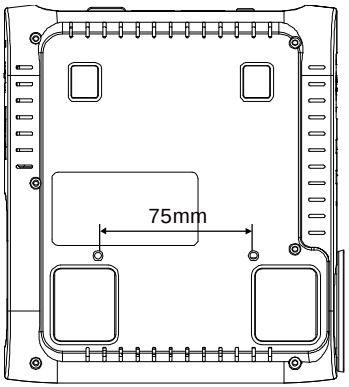
赤外線センサー

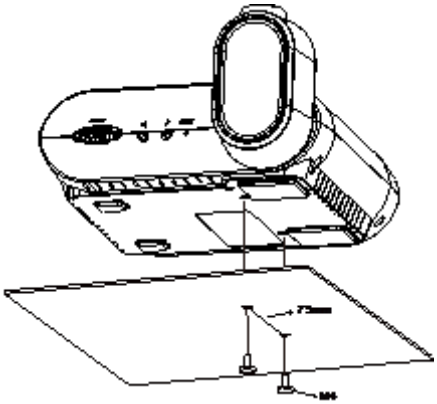
リモコンを赤外線センサーに向けてユニットを操作します。



平らな面に F70W を設置

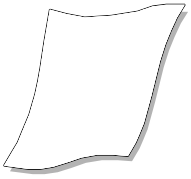
以下の図に示すように、平らな面の中央線の両側に、75 mm の間隔が空くように穴の位置を測定して印をつけます。6 mm 穴用の M4.0 ネジを 2 本使用して、平らな面に F70W を固定します。





アンチグレア シート

アンチグレア シートは、光を反射しやすい対象物や、雑誌や写真など、表面につやのあるものを表示するときに生じる可能性がある光の反射を抑える特殊コーティング フィルムです。つやのある文書の上にそのままアンチグレア シートを置くだけで、光の反射が少なくなります。



外部メモリ ストレージ

AVerVision F70W は、撮影した画像や録音されたオーディオとビデオの保存容量を増やすために外部 SD メモリ カードをサポートしています。外部ストレージ メディアが挿入されると AVerVision F70W はそれを検出し、最後に検出されたストレージに自動的に切り替えます。外部ストレージが接続されていない場合、撮影された静止画像はすべて内蔵メモリに保存されます。

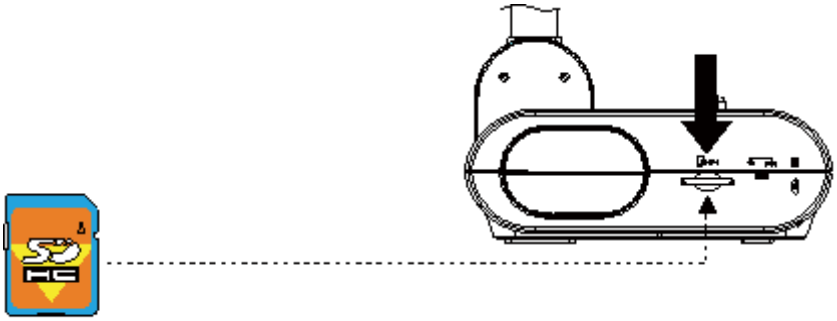
[注]

通常、SD カード メモリの空き容量 (最大 32GB) に応じて、F70W で最大限までビデオを録画できます。1080p 30fps で録画され、MP4 フォーマットで保存されます。

1 時間の録画では、ディスク容量 1.2 ～ 1.5 GB 分のファイルが生成されます。ビデオ ファイルは、2GB に達すると複数のファイルに自動で分割されます。例えば、3 時間のビデオ録画で 3GB 分の容量を使う場合、2 つの録画ファイルが生成されます。1 ファイル目は 2GB で、2 ファイル目は 1 GB になり、合計 3GB です。

SD カードの挿入

接触面を下に向けて奥までカードを挿入します。カードを取り出すには、カードを押してください。サポートされている SD カード容量は 1GB ～ 32GB (FAT32) です。高画質の録画をするには、クラス 6 以上の SDHC カードの使用を推奨します。



SD カード

OSD メニュー

OSD メニューには、[画像]、[プレゼンテーション]、[設定]、[WIFI]、[システム] の 5 つのタブがあります。再生モードでは、[再生 OSD] メニューにアクセスして、スライド ショー機能を有効にしたり、必要に応じてスライド ショーの間隔や遷移設定を変更できます。

TV 出力では、[設定] メニュー リストで [解像度] が無効になります。



画像



プレゼンテーション



設定



WIFI



システム



再生

メニューとサブメニューの操作





1. リモコンまたはコントロール パネルで MENU ボタンを押します。
2. ◀と▶ を押してタブを切り替えます。
3. ▼と▲ を押してメニュー リストで項目を選択します。
4. ↵ を押して選択を確定します。
5. ◀と▶ を使用して設定を調整するか、選択します。
6. ↵ を押してサブメニューを表示します。
7. MENU を押して OSD メニューを閉じます。

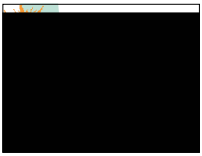
画像

メニュー画面	機能
	**明るさ** 明るさのレベルを手動で 1 ～ 64 に調節します。
	**コントラスト** 明るい環境または暗い環境でのコントラスト レベルを手動で 1 ～ 32 に調節します。

メニュー画面	機能
	**モード** さまざまな画像表示設定から選択します。 **テキスト** – 縁に沿ってコントラストを調節し、テキストを見やすくします。 **グラフィックス** – 画像のグラデーションを調節します。 **顕微鏡** – 光学ズームを微細画像用に自動的に調整します。
	**画像効果** 画像をカラー、モノクロ（白黒）、ネガに変換します。
	**ミラー** カメラ モードで画像を反転します。
	**詳細** オート イメージ、露出、ホワイト バランスを設定します。
	**自動画像** オンまたはオフを選択し、ホワイト バランスと露出の設定を自動的に調節し、色と露出補正を修正します。

メニュー画面	機能
	**露出** 露出設定を選択します。 **自動** – カメラの露出と必要な光の量を自動調整します。 **手動** – 露出レベルを手動で調整します。露出は 99 まで調整できます。
	**ホワイト バランス** さまざまな光の状態や色温度に対するホワイト バランスを選択します。 **自動** – ホワイト バランスを自動調整します。 **手動** – 赤と青の色レベルを手動で調整します。色レベルは 255 まで調整できます。
	**フォーカス** フォーカスを手動で調整します。

プレゼンテーション

メニュー画面	機能
	**スポットライト** スポットライトはプレゼンテーション画面にフレームを重ねて表示します。プレゼンテーション画面で ▲、▼、◂、▸ ボタンを使用し、スポットライトを移動することができます。[Execute (実行)] を選択して、スポットライト サブメニューを呼び出します。  スポットライト サブメニューでは以下のオプションを使用することができます。  **オン/オフ** – スポットライトをオン/オフにします。↵ を押して次の選択に移動します。 **シェード** – ボックス外側のエリアの不透明度を設定します。シェードのかかったエリアでレベルを 100 に設定すると完全に黒くなります。↵ を押して次の選択に移動します。 **色** – スポットライト フレームの色を選択します。↵ を押して次の選択に移動します。 **OK** – ↵ を押すと設定が有効になります。ON を選択すると、フレームが表示されて点滅します。▲、▼、◀、▶ ボタンを使用してフレームのサイズを調節し、↵ を押して必要なサイズに設定します。OFF を選択するとサブメニューが閉じます。
	**マスク** マスクはプレゼンテーション画面を覆います。プレゼンテーション画面の上部が少し見えるようになっています。◘▲、▼、◂、▸ ボタンを使用し、覆われたエリアをさらに表示します。[実行] を選択して、マスク サブメニューを呼び出します。 

メニュー画面	機能
	マスクサブメニューでは以下のオプションを使用することができます。  **オン/オフ** – バイザーをオン/オフにします。↵ を押して次の選択に移動します。 **シェード** – 覆われたエリアの不透明度を設定します。シェードのかかったエリアでレベルを 100 に設定すると完全に黒くなります。↵ を押して次の選択に移動します。 **OK** – ↵ を押すと設定が有効になります。 ON を選択すると、プレゼンテーション画面の上部が少し見えるようになります。▲、▼、◂、▸ ボタンを使用し、覆われているエリアをさらに調整します。OFF を選択するとサブメニューが閉じます。
	**画面分割** 画面を 2 つに分割します。画面の半分は 8 枚のサムネイル画像を表示し、もう一方は AVerVision F70W カメラの画像を表示します。 8 枚のサムネイル再生画像の表示位置を選選択します。OFF を選択すると画面分割がキャンセルされます。 左 右 上 下
	**PIP** サムネイル再生画面の位置を選択して、画面の隅にサムネイル再生画面を表示して、カメラ モードでメモリ内の撮影画像を呼び出します。OFF を選択すると PIP がキャンセルされます。 左下 左上 右上 右下

メニュー画面	機能
	**タイマー** タイマーを開始/一時停止/停止し、タイマーの持続時間を設定します。カウントダウンがゼロに達すると、タイマーは自動的にカウントを開始して経過時間を表示します。再生、PC、カメラ モードを切り替えても、タイマーは継続されます。

設定

メニュー画面	機能
	**キャプチャー** 撮影の解像度、画質、タイプ、間隔を設定します。
	**解像度** 撮影時の圧縮設定を選択します。
	**タイプ** 撮影のタイプを選択します。 **撮影** – 写真を 1 枚のみ撮影します。 **連写** – 連続して写真を撮影します。

メニュー画面	機能
	**間隔** 連写撮影の時間間隔を設定します。600 秒 (10 分) まで設定できます。
	**保存先** ストレージの場所を変更します。オーディオとビデオの録画は SD メモリ カードにのみ保存できます。
	**フォーマット** 選択されたメモリ内のすべてのデータを削除します。
	**USBからPCへ** **カメラ** – コンピュータ Web カメラとして使用するか、付属のソフトウェアで使用して、ビデオの録画と静止画像の撮影が可能です。 **ストレージ** – 撮影した写真/ビデオをメモリからコンピュータのハードディスクに転送します。
	**地域設定** 50Hz または 60Hz を選択します。一部のディスプレイ デバイスは高いリフレッシュ レートに対応していません。出力を別のリフレッシュ レートに切り替えるときに画像に数回ちらつきが発生します。

メニュー画面	機能
	**彩度** 手動で彩度を調整します。
	**日時** 年、月、日の時間を設定します。

WiFi

メニュー画面	機能
	**WiFi 設定** WiFi AP への接続.
	**Select AP (AP の選択)** ↵ を押して、F70W が LAN ネットワークで検出した AP リストを展開します。▲ と ▼ ボタンを使用して、選択する AP に移動します。↵ を押して確定します。

メニュー画面	機能
	**SSIDとパスワードを入力** ▼ ボタンを押し、接続する無線アクセスポイントの SSID とパスワードを入力します。 ↵ を押して、オンスクリーン キーボードを呼び出します。▲、▼、◀、▶、↵ を使用して、パスワードを選択します。不要な文字を削除するには、“Back” キーを使用します。入力が終わったら、Enter を選択します。 パスワードの入力時にパスワードを確認する場合は、[**パスワードの表示**] オプションをオンにしてください。 
	**AP の接続** ▼ ボタンを使用して [**接続**] に移動して、↵ を押して接続を開始します。正常に接続されると、AP 情報が表示されます。 接続を切断するには、[**切断**] を選択して ↵ を押します。 この AP アカウントを記憶させるには、[保存] をオンにします。 WiFi ページに戻るには、[**切断**] を選択して ↵ を押します。
	**マシン名** DocCam の名前を指定します。▼ ボタンを使用して [**マシン名**] に移動して、↵ を押してオンスクリーン キーボードを呼び出します。次に、▲、▼、◀、▶、↵ を使用して、名前を入力します。この名前は、Sphere アプリケーションでユーザーが認識するための ID になります。 

システム

メニュー画面	機能
	**言語** 言語を変更および選択します。
	**出力表示** 画像を画面に表示するための解像度を設定します。この選択は、TV 出力モードでは無効になります。
	**バックアップ** 内蔵カメラの画像を SD カードにコピーします。
	**設定内容保存** 選択されたプロファイル番号で現在の設定を保存します。効果、モード、明るさ、コントラストの設定のみを保存できます。
	**設定の復元** 選択されたプロファイル番号に設定を復元します。

メニュー画面	機能
	**情報** 製品ファームウェア バージョン情報を表示します。
	**既定の設定** すべての設定を既定の設定に復元します。

再生

メニュー画面	機能
	**スライド ショー** 撮影したすべての静止画像を自動スライド ショーで表示します。ビデオ ファイルはスキップされます。
	**間隔** 次の画像を表示するまでの間隔を設定します。100 秒まで設定できます。
	**スライド ショー効果** スライド ショーの遷移効果を選択します。 画像をスライド チェッカーダウン ブラインド 分割して垂直方向に消去 分割して水平方向に消去
	**現在のストレージ** 画像のソースを選択します。
	**すべて削除** 選択されたメモリ ソース内のすべてのデータを永久に削除します。警告メッセージが表示されます。続行するには YES を、ストレージのフォーマットを停止するには NO を選択します。

撮影した画像/ビデオをコンピュータに転送

撮影した画像を内蔵メモリまたは SD からコンピュータに転送できます。

USB ケーブルを接続する**前**に以下の説明を**必ず**お読みになり、説明どおりに操作してください。

1. USB ケーブルを接続する前に **USB-PC をストレージとして**設定する必要があります。



2. プレゼンテーション画面の右下隅に「大容量ストレージが開始します...」が表示されたら、USB ケーブルを接続できます。
3. USB ケーブルを接続すると、システムは新しい取り外し可能ディスクを自動的に検出します。これで、撮影した画像を **F70W 内蔵メモリ** からコンピュータのハードディスクに転送することができます。

技術仕様

画像

センサー	1/2.7” CMOS
画素数	2 メガピクセル
フレーム レート	30 fps (最高)
ホワイト バランス	自動 / 手動
露出	自動 / 手動
画像モード	テキスト / グラフィックス / 顕微鏡
効果	色 / モノクロ / ネガ // 回転 / 一時停止
HDMI 出力	HD 1080p 60Hz; HD 720p 60Hz
画像撮影	240 フレーム (XGA) ; 80 フレーム (2M ピクセル)

光学技術

フォーカス	自動 / 手動
撮影エリア	330mm x 250mm
ズーム	8 倍デジタル ズーム

互換性

ワイヤレス ネットワーク	802.11a/b/g/n/ac (有効範囲 45 フィート)
デュアル バンド	5GHz/ 2.4GHz
ワイヤレス セキュリティ	WEP、AES、TKIP、AES+TKIP、802.1x 対応

電源

電源	DC 12V、100-240V、50-60Hz
消費	16.8 ワット (ランプ消灯時); 18 ワット (ランプ点灯時)

ライト

ランプ タイプ	LED ライト

入力/出力

HDMI 出力	HDMI
HDMI 入力	HDMI
RS-232	メス コネクタ x 1
TV 出力	RCA のみ
USB	USB2.0
DC 12V 入力	電源端子
マイク	電話端子
スピーカー	電話端子

寸法

動作時	380mm*200mm*525mm (+/-2mm ゴム脚を含む)
折りたたみ時	305mm x 230mm x 73mm (+/-2mm ゴム脚を含む)
重量	2.65 kg (約 5.84lbs)

外部ストレージ

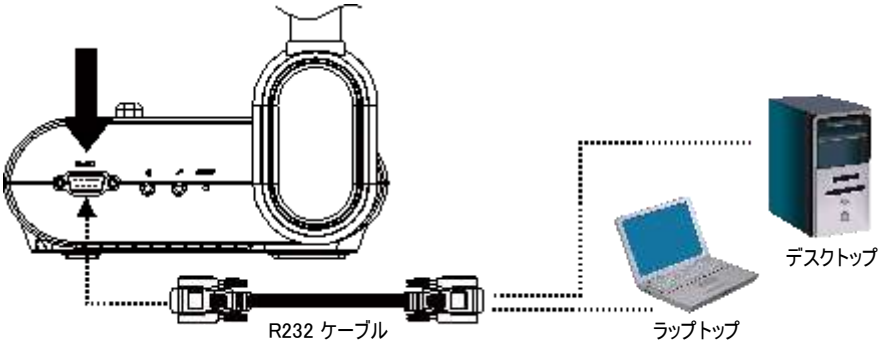
セキュア デジタル (SDHC)	1GB ～ 32GB (FAT32)

RS-232 インターフェイスの使用

AVerVision F70W は、RS-232 接続により、コンピュータまたは一元管理のコントロール パネルで操作できます。システム インテグレーターがシステム プログラムに組み込めるように RS-232 のコマンド コードが用意されています。

コンピュータの RS-232 への接続

コンピュータの RS-232 ポートを RS-232 ケーブルの RS-232 ジャックに接続します。



RS-232 ケーブルの仕様

RS-232 ケーブルがケーブル仕様設計に一致していることを確認してください。



RS-232 通信仕様

- スタート ビット :1 ビット
- データ ビット :8 ビット
- ストップ ビット :1 ビット
- パリティ ビット :なし
- X パラメーター :なし
- ボー レート (通信速度) :9600bps

RS-232 通信方式

送信デバイス コード (1 バイト)	0x52	
タイプ コード (1 バイト)	0x0B	0x0A
データ長コード (1 バイト)	0x03	0x01
データ[0] コード (1 バイト)	RS-232 送信コマンド表	RS-232 取得コマンド表
データ[1] コード (1 バイト)	RS-232 送信コマンド表	X
データ[2] コード (1 バイト)	RS-232 送信コマンド表	X
受信デバイス コード (1 バイト)	0x53	
チェックサム コード (1 バイト)	RS-232 送信コマンド表	RS-232 取得コマンド表
形式	送信デバイス + タイプ + 長さ + データ + 受信データ + チェックサム	送信デバイス + タイプ + 長さ + データ + 受信データ + チェックサム
例	電源オン コマンド: 0x52 + 0x0B + 0x03 + 0x01 + 0x01 + 0x00 + 0x53 + 0x5B	WB 赤の値の取得: 0x52 + 0x0A + 0x01+ 0x02+ 0x53 + 0x5A

RS-232 送信コマンド表

送信フォーマット：0x52 + 0x0B + 0x03 + データ[0] + データ[1] + データ[2] + 0x53 + チェックサム*1

正常受信フォーマット：0x53 + 0x00 + 0x02+ *2 + 0x00 + 0x52 +チェックサム*4

異常受信形式：0x53 + 0x00 + 0x01+ *3 + 0x52 + チェックサム*5

*1 :チェックサム = 0x0B xor 0x03 xor データ[0] xor データ[1] xor データ[2] xor 0x53

*2 :受信データ ok :0x0B、コマンドしない :0x03

*3 :ID エラー:0x01、チェックサム エラー:0x02、機能障害 = 0x04

*4 :チェックサム = 0x00 xor 0x02 xor *2 xor 0x00 xor 0x52

*5 :チェックサム = 0x00 xor 0x01 xor *3 xor 0x52

*6 :スタンバイ モード受信データ = 0x51 + 0xFF + 0x01 + 0x0B + 0x51 + 0xA4

電源オン モード受信データ = データ リターンなし

*7 :スタンバイ モード受信データ = 0x51 + 0x00 + 0x01 + 0x0B + 0x51 + 0x5B

電源オン モード受信データ = 0x53 + 0x00 + 0x02 + 0x0B + 0x00 + 0x52 + 0x5B

機能	データ[0]	データ[1]	データ[2]	チェックサム
POWER OFF*6	0x01	0x00	0x00	0x5a
POWER ON *7	0x01	0x01	0x00	0x5b
CAMERA MODE	0x02	0x00	0x00	0x59
PLAYBACK MODE	0x03	0x00	0x00	0x58
PC-1 PASS THROUGH	0x04	0x00	0x00	0x5f
IMAGE CAPTURE TYPE: SINGLE	0x05	0x00	0x00	0x5e
IMAGE CAPTURE TYPE: CONTINUOUS	0x05	0x01	0x00	0x5f
CONT. CAPTURE INTERVAL +	0x06	0x00	0x00	0x5d
CONT. CAPTURE INTERVAL -	0x06	0x01	0x00	0x5c
TIMER START	0x08	0x00	0x00	0x53
TIMER PAUSE	0x08	0x01	0x00	0x52
TIMER STOP	0x08	0x02	0x00	0x51
TIMER SET TIME	0x08	0x03	Value[1 ~ 120]	*1
PREVIEW MODE: TEXT	0x0A	0x00	0x00	0x51
PREVIEW MODE: GRAPHIC	0x0A	0x01	0x00	0x50
PREVIEW MODE: MICROSCOPE	0x0A	0x03	0x00	0x52
PREVIEW MODE CAPTURE	0x0B	0x00	0x00	0x50

機能	データ[0]	データ[1]	データ[2]	チェックサム
PLAYBACK DELETE	0x0C	0x00	0x00	0x57
PLAYBACK FULL SCREEN	0x0D	0x00	0x00	0x56
MIRROR OFF	0x0E	0x00	0x00	0x55
MIRROR ON	0x0E	0x01	0x00	0x54
ROTATE 0	0x0F	0x00	0x00	0x54
ROTATE 180	0x0F	0x02	0x00	0x56
EFFECT: COLOR	0x10	0x00	0x00	0x4b
EFFECT: B/W	0x10	0x01	0x00	0x4a
EFFECT: NEGATIVE	0x10	0x02	0x00	0x49
CONTRAST INCREASE	0x11	0x00	0x00	0x4a
CONTRAST DECREASE	0x11	0x01	0x00	0x4b
CONTRAST VALUE	0x11	0x02	Value[1 ~ 32]	*1
BRIGHTNESS INCREASE	0x12	0x00	0x00	0x49
BRIGHTNESS DECREASE	0x12	0x01	0x00	0x48
BRIGHTNESS VALUE	0x12	0x02	Value[1 ~ 64]	*1
EXPOSURE: AUTO	0x13	0x00	0x00	0x48
EXPOSURE: MANUAL	0x13	0x01	0x00	0x49
EXPOSURE MANUAL INCREASE	0x14	0x00	0x00	0x4f
EXPOSURE MANUAL DECREASE	0x14	0x01	0x00	0x4e
WHITE BALANCE: AUTO	0x15	0x00	0x00	0x4e
WHITE BALANCE: MANUAL	0x15	0x01	0x00	0x4f
WHITE BALANCE BLUE INCREASE	0x16	0x00	0x00	0x4d
WHITE BALANCE BLUE DECREASE	0x16	0x01	0x00	0x4c
WHITE BALANCE RED INCREASE	0x17	0x00	0x00	0x4c
WHITE BALANCE RED DECREASE	0x17	0x01	0x00	0x4d
FLICKER: 50Hz	0x18	0x00	0x00	0x43
FLICKER: 60Hz	0x18	0x01	0x00	0x42
SPOTLIGHT: OFF	0x19	0x00	0x00	0x42
SPOTLIGHT: ON	0x19	0x01	0x00	0x43

機能	データ[0]	データ[1]	データ[2]	チェックサム
SPOTLIGHT SHADE: 0% dark	0x1A	0x00	0x00	0x41
SPOTLIGHT SHADE: 50% dark	0x1A	0x01	0x00	0x40
SPOTLIGHT SHADE: 100% dark	0x1A	0x02	0x00	0x43
SPOTLIGHT COLOR: RED	0x1B	0x00	0x00	0x40
SPOTLIGHT COLOR: GREEN	0x1B	0x01	0x00	0x41
SPOTLIGHT COLOR: BLUE	0x1B	0x02	0x00	0x42
SPOTLIGHT RESIZE	0x1C	0x00	0x00	0x47
VISOR: OFF	0x1D	0x00	0x00	0x46
VISOR: ON	0x1D	0x01	0x00	0x47
VISOR SHADE: 50% dark	0x1E	0x00	0x00	0x45
VISOR SHADE: 100% dark	0x1E	0x01	0x00	0x44
PIP: OFF	0x1F	0x00	0x00	0x44
PIP: ON	0x1F	0x01	0x00	0x45
PIP POSITION: BOTTOM LEFT	0x20	0x00	0x00	0x7b
PIP POSITION: TOP LEFT	0x20	0x01	0x00	0x7a
PIP POSITION: TOP RIGHT	0x20	0x02	0x00	0x79
PIP POSITION: BOTTOM RIGHT	0x20	0x03	0x00	0x78
SPLITSCREEN: OFF	0x21	0x00	0x00	0x7a
SPLITSCREEN: ON	0x21	0x01	0x00	0x7b
SPLITSCREEN DIR: UPPER SCREEN	0x22	0x00	0x00	0x79
SPLITSCREEN DIR: LOWER SCREEN	0x22	0x01	0x00	0x78
SPLITSCREEN DIR: LEFT SCREEN	0x22	0x02	0x00	0x7b
SPLITSCREEN DIR: RIGHT SCREEN	0x22	0x03	0x00	0x7a
RECORD: OFF	0x23	0x00	0x00	0x78
RECORD: ON	0x23	0x01	0x00	0x79
MOVIE FAST REWIND	0x25	0x00	0x00	0x7e
MOVIE FAST FORWARD	0x25	0x01	0x00	0x7f
MOVIE VOL INC	0x26	0x00	0x00	0x7d
MOVIE VOL DEC	0x26	0x01	0x00	0x7c
STORAGE: EMBEDDED	0x28	0x00	0x00	0x73

機能	データ[0]	データ [1]	データ[2]	チェックサム
STORAGE: SD CARD	0x28	0x01	0x00	0x72
FORMAT: EMBEDDED	0x29	0x00	0x00	0x72
FORMAT: SD CARD	0x29	0x01	0x00	0x73
OUTPUT RESOLUTION: 1024x768	0x2F	0x01	0x00	0x75
OUTPUT RESOLUTION: 1280x720	0x2F	0x02	0x00	0x76
OUTPUT RESOLUTION: 1920x1080	0x2F	0x03	0x00	0x77
OUTPUT RESOLUTION: 1280x1024	0x2F	0x04	0x00	0x70
OUTPUT RESOLUTION: 1600x1200	0x2F	0x05	0x00	0x71
OUTPUT RESOLUTION: 1280x800	0x2F	0x06	0x00	0x72
USB CONNECT: USB CAMERA	0x30	0x00	0x00	0x6b
USB CONNECT: MASS STORAGE	0x30	0x01	0x00	0x6a
BACKUP TO SD CARD	0x31	0x00	0x00	0x6a
PROFILE SAVE: PROFILE 1	0x32	0x00	0x00	0x69
PROFILE SAVE: PROFILE 2	0x32	0x01	0x00	0x68
PROFILE SAVE: PROFILE 3	0x32	0x02	0x00	0x6b
PROFILE RECALL: PROFILE 1	0x33	0x00	0x00	0x68
PROFILE RECALL: PROFILE 2	0x33	0x01	0x00	0x69
PROFILE RECALL: PROFILE 3	0x33	0x02	0x00	0x6a
SLIDESHOW: OFF	0x34	0x00	0x00	0x6f
SLIDESHOW: ON	0x34	0x01	0x00	0x6e
SLIDESHOW EFFECT: EFFECT 0	0x35	0x00	0x00	0x6e
SLIDESHOW EFFECT: EFFECT 1	0x35	0x01	0x00	0x6f
SLIDESHOW EFFECT: EFFECT 2	0x35	0x02	0x00	0x6c
SLIDESHOW EFFECT: EFFECT 3	0x35	0x03	0x00	0x6d
SLIDESHOW EFFECT: EFFECT 4	0x35	0x04	0x00	0x6a
AUTO IMAGE:OFF	0x36	0x00	0x00	0x6d
AUTO IMAGE:ON	0x36	0x01	0x00	0x6c
CAPTURE QUALITY: NORMAL	0x37	0x00	0x00	0x6c
CAPTURE QUALITY: HIGH	0x37	0x01	0x00	0x6d
CAPTURE QUALITY: FINEST	0x37	0x02	0x00	0x6e

機能	データ[0]	データ[1]	データ[2]	チェックサム
AUTO FOCUS	0x40	0x00	0x00	0x1b
MENU	0x41	0x00	0x00	0x1a
ARROW - DOWN	0x42	0x00	0x00	0x19
ARROW - UP	0x42	0x01	0x00	0x18
ARROW - LEFT	0x42	0x02	0x00	0x1b
ARROW - RIGHT	0x42	0x03	0x00	0x1a
ENTER	0x43	0x00	0x00	0x18
FREEZE	0x44	0x00	0x00	0x1f
DEFAULT	0x45	0x00	0x00	0x1e
ZOOM -	0x46	0x00	0x00	0x1d
ZOOM +	0x46	0x01	0x00	0x1c
ZOOM RESET	0x47	0x00	0x00	0x1c
NEAR	0x48	0x00	0x00	0x13
FAR	0x48	0x01	0x00	0x12
LAMP OFF	0x49	0x00	0x00	0x12
LAMP ON	0x49	0x01	0x00	0x13

RS-232 コマンド表

送信フォーマット：0x52 + 0x0A + 0x01 + データ[0] + 0x53 + チェックサム
受信フォーマット：0x53 + 0x0C + 0x01 + リデータ[0] + 0x52 + リチェックサム*1
*1 :リチェックサム = 0x0C xor 0x01 xor リデータ[0] xor 0x52
*2 :電源ステータス受信データ = 0x51 + 0xFF + 0x01 + 0x0A + 0x51 + 0xA5

機能	データ[0]	チェックサム	リデータ[0]
Red Value	0x02	0x5A	Value[0 ~ 255]
Blue Value	0x03	0x5B	Value[0 ~ 255]
Power Status	0x04	0x5C	OFF [*2] 1: ON
Lamp Status	0x05	0x5D	0 : OFF 1: ON
Display Status	0x06	0x5E	0: CAMERA MODE 1: PLAYBACK MODE 2: PC-1 PASS THROUGH
Video Output Status	0x07	0x5F	0: HDMI 1: TV
Freeze Status	0x08	0x50	0 : OFF 1: ON
Brightness Value	0x0A	0x52	Value[1 ~ 64]
Contrast Value	0x0B	0x53	Value[1 ~ 32]

トラブルシューティング

AVerVision F70W の使用についてお困りのことがある場合は、こちらの解決方法を参考にしてください。

一般事項

AVerVision F70W をセットアップして、マニュアルに記載されているとおりにすべて接続したことを確認したが、指定したプレゼンテーション画面で画像を表示できない。

1. 電源を接続すると、ユニットはスタンバイ モードになります。電源ボタンを押して電源を入れてください。
2. ディスプレイ出力デバイスが TV またはアナログ デバイスの場合は、TV-RGB スイッチを TV に切り替えてください。

プレゼンテーション画面の画像がゆがんでいる、または画像がぼやけている。

1. 変更した設定がある場合は、すべて元の工場出荷時の既定の設定にリセットします。MENU **を押してから、**[システム] > [既定の設定] を選択し、OSD メニューで YES を選択します。
2. 該当する場合は、明るさとコントラストのメニュー機能を使用して、ゆがみを抑えます。
3. 画像がぼやけている場合やピントが合わない場合は、コントロール パネルまたはリモコンの オート フォーカス ボタンを押します。

プレゼンテーション画面にコンピュータ信号がない。

1. ディスプレイ デバイス、AVerVision F70W、PC の間のケーブルがすべて接続されていることを確認します。
2. PC を AVerVision F70W に接続してから、PC の電源を入れます。
3. ラップトップの場合は、FN+F5 を繰り返し押してディスプレイ モードを切り替えて、コンピュータの画像をプレゼンテーション画面に表示します。その他のコマンドについては、ラップトップのマニュアルを参照してください。

カメラから PC モードに切り替えた後、PC またはラップトップ上のデスクトップ画像がプレゼンテーション画面に正しく表示されない。

1. PC またはラップトップに戻り、デスクトップ上で右クリックし、[プロパティ] を選択して [設定] タブを選択し、モニター “2” をクリックして、[Windows デスクトップをこのモニター上で移動できるようにする] チェックボックスをオンにします。
2. 次に、もう一度 PC またはラップトップに戻り、デスクトップをもう一度右クリックします。
3. 今回は [グラフィック オプション] > [出力先] を選択し、[Intel® デュアル ディスプレイ クローン] を選び、[PC モニター + ノートブック] を選択します。
4. 上記を行った後、PC またはラップトップ上と同じ画像がプレゼンテーション画面に表示されます。

上級ユーザー向け

F70W Wi-Fi 接続で OSD メニューに “None” と表示される。

MENU を押して Wi-Fi 設定ページを開いて接続し、[再スキャン] を選択して、システムでもう一度電波を再スキャンします。

再スキャンしても F70W 上で SSID が検出されない。

WiFi ドングルをチェックして、適切に F70W に挿入されていることを確認してください。システムが起動したときに、ドングルのライトが青くなることを確認してください。青くならない場合は、WiFi ルーターが動作していることを確認してください。所属組織のシステム アドミニストレーターに連絡して問題の詳細を確認し、AVer テクニカル サポートに問い合わせてください。

USB ケーブルで F70W が PC に接続されているが、Sphere2 にライブ画像を表示できない。

F70W オンボード キーパッドをテックして、WiFi LED“((•))” がオフになっていることを確認してください。青く点灯している場合は、“((•))” を押してオフにします。次に、Sphere2 をもう一度開いて、以下の図に示すように、“Visualizer” アイコンからカメラを選択します。



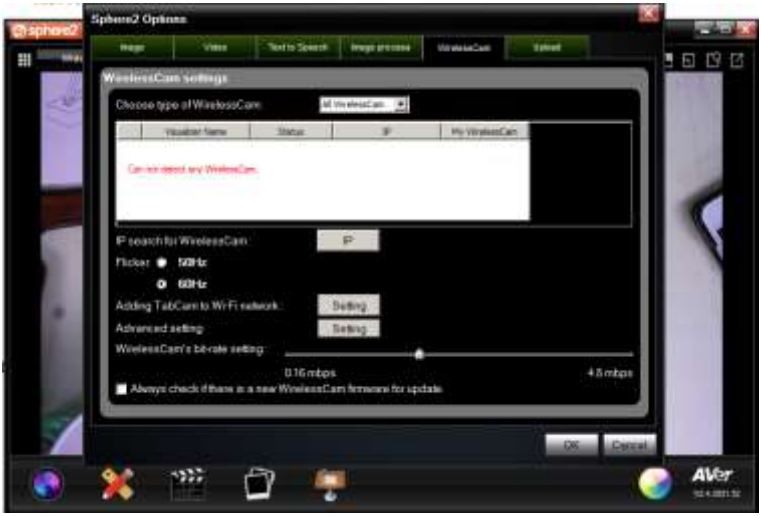
F70W から iPad と PC にストリーミングしているが、ライブ ビデオがスムーズではない (フレームの欠落がある、など)。

WiFi パフォーマンスに影響を与える要因はたくさんあります。

- WiFi ルーターで 5G 帯域幅がサポートされている場合はこれをチェックして使用してください。F70W は 2.4GHz または 5Ghz、および 802.11ac までの標準をサポートしています。
- Sphere2 ソフトウェアを使用している場合は、“Sphere2” [オプション] の [WirelessCam ビットレート設定] を選択し、設定を 1.24Mbps に下げてください (低い帯域幅を使用)。iPad または Android タブレットの AVer アプリにも同様のオプションがあります。

電源とネットワーク LED ライトが点灯していて、Wi-Fi ルーターで割り当てられた IP アドレスが画面上に表示されているが、F70W がソフトウェアに検出されない。

1. コンピュータ/タブレットが F70W と同じ Wi-Fi ネットワーク（同じ SSID）に接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、IP 検索メソッドを使用して、IP アドレスで F70W に接続する必要がある場合があります（以下の #2 を参照）。
2. アクセス ポートを開きたくない場合は、F70W の IP アドレスで F70W に接続できます。以下の画面は、F70W の IP を入力する場所を示しています。



3. コンピュータにインストールされているセキュリティ ソフトウェア（ファイアウォール、ウィルス対策）が F70W とコンピュータ/タブレットの間の通信を妨げている可能性があります。Wi-Fi ルーターも一部の TCP/UDP ポートをブロックしている可能性があります。これらのポートがブロックされていると、F70W は Wi-Fi にアクセスできません。所属組織の MIS に連絡してブロックを解除してください。確認すべきポートは以下のとおりです。

TCP/UDP	ポート
UDP	1900
TCP	9527
TCP	9528
TCP	8557

ここに記載されているすべてのことを試したが、F70W がまだ接続されない。

解決方法: 当社の Wi-Fi ツールを使用して、ご利用の Wi-Fi をテストして互換性を確認してください。次の手順に従ってください。

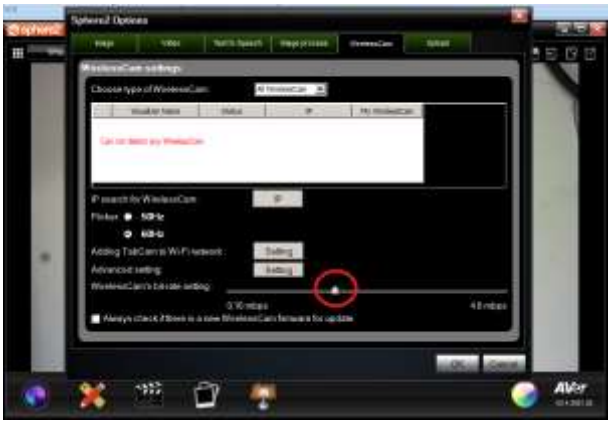
1. 2 つのワイヤレス デバイス (PC、iPad、または Android) を同じ Wi-Fi ネットワークに接続します。
2. AVer Information Inc. の WiFi テスト ツールを両方のデバイスにインストールします。
   a. PC: WiFi テスト ツールをここからダウンロードします。
   b. iPad:App Store から AVer Information Inc. の WiFi テスト ツールをダウンロードします (AVer で検索)。
   c. Android:Google Play ストアから AVer Information Inc. の WiFi テスト ツールをダウンロードします (AVer で検索)。
3. 両方のデバイスで WiFi テスト ツールを実行して、一方のデバイスのリモート デバイス IP (デバイス IPv4 アドレス) を入力します。
4. 両方のデバイスで Start を押してテストを開始します。
5. テストに合格した場合は、Wi-Fi が F70W と互換性があり、接続に問題ないことがわかります。テストが不合格になった場合は、F70W が接続されるようにルーターの一部の設定を変更する必要があります。
6. 当社のテクニカル サポートにお電話ください。問題を解決できるように、WiFi テスト ツールで生成されたエラー ログの情報をお知らせください。

テスト実行の詳細については、WiFi テスト ツールのデモをご覧ください:http://youtu.be/v7WjHAFgWFc

リストに F70W があるが、F70W を選択してもライブ ビューが表示されない。

Wi-Fi 接続で信号強度の問題がある可能性があります。以下の手順を行ってください。

1. ご利用の WiFi が 5GHz 帯域幅をサポートしている場合は、混雑しやすい 2.4GHz ではなく 5GHz に接続してください。
2. Wi-Fi ネットワークを同時に使用しているデバイスが他にある可能性があります。帯域幅の使用状況、パケット損失、その他の接続要素によって、ビデオ画質に影響が出ることがあります。
3. Sphere2 PC/MAC ソフトウェアで接続している場合は、帯域幅設定を切り替えて帯域幅の使用を抑えてください。(例: Sphere2 -> [オプション] -> [WirelessCam] -> [WirelessCam bitrate Settings (WirelessCam ビットレート設定)])



保証について

該当する製品の購入日から「**Warranty Period of AVer Product Purchased**（購入された AVer 製品の保証期間）」セクションに定める期間、AVer Information Inc.（「AVer」）は、該当する製品（「製品」）が、AVer の製品向け文書に実質的に適合し、通常の使用では、その製造とコンポーネントに材料および仕上がりの欠陥がないことを保証します。この契約で使用される「使用者」は使用者個人、または該当の製品を使用またはインストールする対象となる事業体を意味します。この制限付き保証は本来の購入者としての使用にのみ限定されます。前述の場合を除き、製品は「現状のまま」提供されます。AVer はいかなる状況でも、使用者が問題または中断なく製品を操作できること、または製品が使用者の目的に適合していることを保証するものではありません。この節における使用者の唯一の救済およびAVer の全責任は、AVer の選択で、同じまたは同等の製品で、製品の修理または交換を行うことです。この保証は、（a）製品のシリアル番号が判別不能だったり、修正されたり、外されたりした場合、または（b）本製品と一緒に使用されるカートン、ケース、バッテリ、キャビネット、テープ、アクセサリには適用されません。この保証は、（a）事故、乱用、誤用、粗略な取扱い、火、水、落雷などの自然災害、商業的または工業的使用、不適切な改造、製品に含まれる指示に従わないこと、（b）製造元の担当者以外の者によるサービスの誤用、（c）出荷による損傷（そうした賠償は運送業者に請求しなければならない）、または（d）製品の不具合に関係のない他の原因によって、損傷、機能悪化、異常が生じた製品には適用されません。製品を修理または交換する保証期間は、（a）本来の保証期間、または（b）修理または交換した製品の出荷日から30 日以内とします。

保証の制限

AVer はいかなる第三者に対しても保証する責任を負いません。製品の使用または不使用によって使用者に要求されたすべての賠償、損害、返済、費用、弁護費用については、使用者が責任を負います。この保証は、製品がAVer の仕様に従って設置、操作、保守、使用された場合にのみ適用されます。特に、保証は、（i）事故、異常な物理的、電気的、電磁気的ストレス、粗略な取扱い、誤用、（ii）AVer の仕様の範囲を超える電力の変動、（iii）AVer または同社の正式代理店によって提供されたのではないアクセサリやオプションの併用、または（iv）AVer または同社の正式代理店以外の者による製品の設置、改造、修理によって引き起こされるいかなる障害にも適用されません。

保証の放棄

AVer は、明白に規定されている場合を除き、および法律で最大限に認められる範囲で、明示的か、暗示的か、法令によるかを問わず、品質の満足、売買の過程、取引利用や慣行や商品性の暗黙的保証、特定の目的への適合性、第三者の非侵犯を含む、またはそれらに限定されない製品に関する他のすべての保証を放棄します。

責任の限定

AVer はいかなる事態が発生しようとも、過失または他の法的理論を含む契約または不法行為に基づき、この制限付き保証、またはいかなる製品の使用または性能に関連して発生した利益、データ、売上、利用の損失、またはビジネスの中断、または代替商品やサービスの提供コストを含む、またはそれに限定されない、直接的、間接的な、特殊な、偶発的な、深刻な、必然的な損害および損失に対して、そのような損害の可能性が事前に何らかの形で指摘されていたとしても、責任を負わないものとします。いかなる形態の行為に起因するものであれ、損害に対するAVerの 責任は、責任が求められる特定の製品に対して使用者がAVer に支払った額を超えないものとします。

準拠法と使用者の権利

この保証は使用者に特定の法的権利を付与します。

保証期間については、保証書を参照してください。